

(様式1)

研修・視察報告書

令和元年11月11日

みどり市議会議員  
大澤 映 男 様

代表 みどり市議会議員 古田島和茂

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

|                 |                                                                                                                                                      |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期間              | 令和元年10月29日(火) ～令和元年10月31日(木)                                                                                                                         |
| 研修・視察先<br>及び所在地 | 1. 令和元年10月29日(火)大分県豊後高田市市役所<br>大分県豊後高田市是永町39番地3<br>2. 令和元年10月30日(水)大分県由布市役所<br>大分県由布市庄内町柿原302番地<br>3. 令和元年10月31日(木)BOAT RACE 福岡<br>福岡県福岡市中央区那の津1-7-5 |
| 参加者氏名           | 大澤映男、金子實、上岡克己、松井篤、高草木弘子、古田島和茂<br>武井俊一、新井みゆき、柴崎訓佳、杉山英行                                                                                                |
| 目的              | 1. 分後高田市における中心市街地活性化の取り組みについて<br>2. 観光行政全般について<br>3. 施設の概要及び主な取り組みについて                                                                               |
| 概要              | 別紙のとおり                                                                                                                                               |
| 成果・所感           | 別紙のとおり                                                                                                                                               |

※「目的」「概要」「成果・所感」は別途書式に替えることができる。

※「成果・所感」は、参加者全員が記入する。



令和元年度会派行政視察研修についてご報告いたします。  
視察調査期日は、令和元年10月28日から30日まで。調査団は、議長、新政クラブ4名、広和クラブ4名、無会派1名の計10名で大分豊後高田市、由布市、福岡市にて調査を行った。

## 1. 豊後高田市の概要

10月28日(火)は、豊後高田市において、豊後高田市における中心市街地活性化の取り組みについて説明を受けた。

豊後高田市は、平成17年3月31日に豊後高田市、真玉町、香々地町の1市2町が合併して生まれた市で、大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、人口約2万3千人の市である。

### ○豊後高田市のまちづくり戦略

「豊後高田昭和の町」の取り組みの背景として、

『商店街が最も元気だった「昭和30年代」の賑わいをもう一度』をコンセプトとしてスタートした。平成9年に「豊後高田市商店街・商業集積等活性化基本構想策定調査業」を実施。中心市街地のコンセプトを設定。平成12年「商店街の街並みと修景に関する調査事業」を実施した結果、商店街の建物の70%が昭和30年代以前の建物であった事が判明。そのことにより、「豊後高田昭和の町」が本格的に動き始める。

そこで、まちづくりのコンセプトとして4つの再生を掲げられた。

#### 1. 「昭和30年代」のまちなみ再生

##### ①昭和の建築再生(昭和の町並景観づくり)

平成13年～活用した事業・・・国の支援制度を積極的に活用

- ・中心市街地空き店舗対策事業(国)・戦略的中心市街地商業等活性化支援事業(国)
- ・地域提案型雇用創造促進事業(国)・まちづくり交付金事業(国)・大分県地域商業地魅力アップ総合支援事業(県)・豊後高田市一店一宝展示施設整備事業(市)・豊後高田市店舗等ミニ修景事業(市)・豊後高田市観光施設等整備事業(市)等

※平成30年度末現在は、45店舗の認定店。

☆さらなる活性化へ・・・改正まちづくり三法へのチャレンジ

・平成18年8月～

豊後高田市商工会議所、豊後高田市観光まちづくり会社、豊後高田市の3者で研究

・豊後高田市中心市街地活性化協議会設立(平成18年10月2日)

豊後高田市商工会議所・豊後高田市観光まちづくり会社により設立(全国で8番目)

・中心市街地活性化基本計画策定・内閣総理大臣認定(平成19年5月)

・第2期中心市街地活性化基本計画策定・内閣総理大臣認定(平成24年3月)

・豊後高田昭和の町地区都市再生整備計画(第1期主要事業) H18年度～H22年度

1)H19～H22 桂橋建築事業 6.5 億円(昭和の町にマッチした”渡ってみたい”橋の改築)

2)H21・22 昭和のボンネットバス活用支援 800 万円(社会資本整備総合交付金)

3)店舗修景・ミニ修景事業 10,000 万円(社会資本整備総合交付金)

4)H22 空き店舗活用事業 230 万円(社会資本整備総合交付金)

5)H20～H22 中央公園改修事業 4.6 億円(社会資本整備総合交付金)

※1)中心市街地にある桂橋は、ノスタルジックな風合いの高欄やレトロ調の街路灯など昭和 30 年代をイメージさせるデザインに仕上げる。兩岸の親柱に昭和の町のシンボル「おしっくら」をする子供たちの彫像を据えている。又太陽光発電により発光する LED ソーラーブロックを設置し、夜間の通行の安全性や環境との調和にも配慮されている

5)従前の中央公園は、樹木が覆い茂り、防犯上の問題などもあったとのこと。対策として講じられたのは、中心市街地にある都市公園という利点を生かして、見通しのよい芝生広場、大型コンビネーション遊具を整備。遊具は、ミゼットや東京タワーをモチーフにした昭和を感じさせるものになっている。。

・豊後高田昭和の町地区都市再生整備計画(第 2 期主要事業) H23 年度～H27 年度

1)H24～H25 玉津プラチナ通り美装化事業 3,480 万円(社会資本整備総合交付金)

2)店舗修景・ミニ修景事業 450 万円(社会資本整備総合交付金)

3)H24～25 玉津海岸線美装工事化事業 1.2 億円(社会資本整備総合交付金)

4)H23～H24 図書館整備事業(暮らし・にぎわい再生事業)7.5 億円(社会資本整備総合交付金)、5)H25～H27 新庁舎整備事業(コミュニティプラザ)27.5 億円(社会資本整備総合交付金)

・豊後高田城台地区都市再生整備計画(主要事業) H24 年度～H28 年度

1) H26～H27 地域交流センター整備事業【PFI 手法による整備】3,770 万円(社会資本整備総合交付金)

2) H26～H27 市営住宅整備事業【PFI 手法による整備】(子育て世帯等を対象した「エミエール城台」を木造 2 階建てメゾットとして 5 棟 18 戸を整備)2.5 億円(社会資本整備総合交付金)

3) 世帯等を対象した「エミエール城台」を木造 2 階建てメゾットとして 5 棟 18 戸を整備

4) 4) H24～H28 城台団地整備事業(安価で優良な分譲地を 66 区画造成した)5.4 億円(社会資本整備総合交付金)

※【PFI 手法による整備】(Private Finance Initiative)とは、公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、従来のように公共が直接施設を整備せずに民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法。

## 2. 「昭和30年代」のお宝展示・商品販売

### ①昭和の歴史再生(一店一宝)

店に残るお宝を一店一宝として展示し、町や店の物語をつくる。

昭和30年代の三種の神器(テレビ・洗濯機・冷蔵庫)、アイスクャンディーの行商自転車等の展示等。

### ②昭和の商品再生(一店一品)

昭和を感じさせる店自慢の商品を一店一品として販売する。

特製アイスクャンディー、おからコロケ等

## 3. 「昭和30年代」の人情味あふれるおもてなしを体感

### ①昭和の商人再生

お客さんとふれあい、おもてなしの心づくり。⇒お客さんと直接対話し、ふれあう昔ながらの接客でおもてなしをする。

### ②「昭和の町」案内人

昭和の町の語り部として、まちの歴史等を方言交じりで案内をする。

結果、観光客に大好評であり、多くのリピーターを生み出している要因となっている。

## 4. 観光拠点施設「昭和ロマン蔵」

県内有数のお金持ちであった野村氏が小作米1万表を収納するため昭和10年頃に建設した農業倉庫をリノベーションし、観光拠点施設「昭和ロマン蔵」として整備をされた。

東蔵・・・駄菓子屋の夢博物館、昭和の絵本美術館(H28年度まで)、チームラボギャラリー昭和の町

南蔵・・・和食レストラン旬彩「南蔵」

北蔵・・・昭和の夢町三丁目館

## ・昭和の町展示館

旧金融機関があった歴史的景観を現在まで留める建物を「昭和の町展示館」としてリニューアルした。“衣・食・住・娯楽・歴史”の5のテーマにまつわる物や歴史的資料を解説を交え展示。

## ・昭和時代にタイムスリップ・・・昭和の時代が体験できる町として復活

懐かしの商店街のほか、ボンネットバス(昭和32年式)、昔の小学校、民家などを体験、ひとときの時間旅行を楽しむことができるような取り組みを実施。。

◎現在の取り組み

1. 豊後高田昭和の町地区都市再生整備計画(第3期主要事業) H28年度～R2年度  
まちなかに新たな魅力と様々の都市機能を集積させ、市民生活の上で便利で多機能なまちづくりを行う
  - ・地域交流センター兼健康増進拠点施設整備事業(H28年度～H30年度)  
健康づくりをコンセプトとした御玉市民公園と一体性・連続性を持たせ、本市の健康事業の拠点形成を図る。
  - ・御玉市民公園整備事業(H28年度～H30年度)  
新庁舎移転後の跡地を、豊後高田市にしかない健康づくり公園を整備する。
2. 世界から愛される「昭和の町」へ  
「豊後高田昭和の町」は、国内だけでなく、海外からの観光客を対象とした観光案内の多言語化やフリーWi-Fi整備、さらにスマートフォンを活用した案内動画の作成などに取り組んでいる。
3. 「豊後高田昭和の町」は、多くのまちづくり賞を受賞
  - ・ H17年度 大分合同新聞社賞 2005、地域再生・地域自慢大会最優秀賞(内閣府),  
ふるさとづくり 2005 ふるさとづくり賞、内閣官房長官賞((財)あしたの日本を創る協会)
  - ・ H18年度 頑張る商店街 77 選(経済産業省)、地域いきいき観光まちづくり 100(国土交通省)、第2回 J T B 交流文化賞
  - ・ H19年度 地域づくり総務大臣表彰(総務省)
  - ・ H21年度 サントリー地域文化賞、全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞(日本商工会議所)
  - ・ H23年度 まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣賞、手作り郷土賞(国土交通省)
  - ・ H24年度 まち交大賞(まちづくり情報交流大賞)(国土交通省)
  - ・ H27年度 COOL JAPAN AWARD2015 ((社)クールジャパン協議会)
  - ・ H28年度 ふるさとづくり大賞「地方自治体表彰(総務大臣)」(総務省)
  - ・ H29年度 2017ASIAN TOWNSCAPE AWARDS(アジア都市景観賞)(国連ハビタット福岡本部)

## ※参 考

市長：佐々木 敏夫(ささき としお)

議長：菅 健雄(すが たけお)

人口：26,101人(男性12,207人、女性13,894人)

世帯：9,572世帯

面積：206.24 km<sup>2</sup>

議員定数：16人

財政力指数0.30 経常収支比率95.0 実質公債費比率8.0

(平成29年度豊後高田市財政状況資料集)

## 自然

本市は、大分県の北東部、国東半島も西側に位置し、東経131°26'、北緯33°33'、東西の距離17.1 km、南北の距離23.2 km、総面積は206.24 km<sup>2</sup>で、西は宇佐市、東は国東市、南は杵築市と接しています。

また、大分市まで約60 km、北九州市まで約90 kmで、両市に比較的近い距離にあり、北は周防灘に面し、豊かな自然と温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候に属しています。

地域の東部から南部にかけては、ハジカミ山、尻付山、両市山や日本三叡山等の山々が連なり、国東半島のほぼ中央の両市山から、放射状に谷や峰々が延びた地形となっており、その谷間を桂川、真玉川、竹田川が走り、河口付近に市街地が形成されています。

域内には、瀬戸内海国立公園及び国東半島県立公園を擁し、山間部及び海岸部の自然景観や農村集落景観、六郷満山文化ゆかりの史跡等、豊かな自然と歴史文化などの地域資源が豊富です。

## 歴史

当地域は、奈良時代末から宇佐神宮の影響を強く受け、平安時代には宇佐神宮の郷となり、その経済力を背景として独特の山岳仏教文化「六郷満山文化」を開花させました。また、当時は海路交通により関西方面との交流が盛んであったため、直接、都の文化の影響を受けたものと考えられます。鎌倉時代から戦国時代まで、当地域は国東半島地域の武士団の瀬戸内海への根拠地であり、明治以降においては関門地域への内海航路の拠点となるなど歴史的には西瀬戸地域の交流の結節点の役割を果たしてきました。その後、昭和にかけて町村合併により、昭和29年度豊後高田市、真玉町、香々地町の1市2町が誕生しました。

その後、我が国の産業構造の変化に伴う、都市部への人口流出により、過疎化、高齢化が進行したため、新たな時代の変化に対応すべく、平成17年3月31日に1市2町が合併し、人口26,101(男性：12,207人、女性：13,894人)、新生「豊後高田市」が発足しました。



## 2. 由布市の概要

2005年に狭間町・庄内町・湯布院町の3町が合併して由布市が誕生した。

面積は319.16k m<sup>2</sup>、人口約35,000人、世帯数15,600戸の自治体。

### 1) 由布院のまちづくりの基本は、西ドイツのクアオルト構想

- ・1924年、林学博士本多静六氏が、「由布院温泉発展策」と題した講演で、民間主導のまちづくりと、西ドイツの温泉都市バーデンバーデンにみる、森林公園都市の大切さを説く。
- ・1956年、当時青年団長だった湯布院町初代町長岩尾頼一氏により、西ドイツに学ぶ「保養温泉地構想」がスタートし、官民一体となった取り組みが始まった。

### 2) 大地震からの新たな企画

1975年に大分県中部地震が発生したことにより「湯布院の旅館は全滅したらしい」との風評からユニークな催しを企画し、全国に「元気な湯布院」を情報発信しようとする新たな取り組みを開始。

- ・辻馬車の運行、ゆふいん映画祭、ゆふいん音楽祭、牛喰い絶叫大会

### 3) 「成長の管理」を基調とした開発の抑制と誘導

1988年頃からの無計画なリゾート開発の波が起こる。そのことにより、開発の規制や民間活力の導入等の取り組みを実施する。

1990年に「潤いのある町づくり条例」を制定し、一定以上の面積や高さの開発行為について、事前協議とまちづくり審議会の審議により、湯布院のまちづくりコンセプトを尊重する施策を導入。

#### ※潤いのある町づくり条例

##### 目的(第1条)

この条例は、湯布院の潤いのあるまちづくりの施策を推進するうえで、開発事業等の調整を図るため、基本的な事項を定め、住民の健康で文化的な生活の維持及び向上を図ることを目的とする。

### 4) 由布市の観光動態

1970年 約100万人(日帰り客 約60万人、宿泊客 約40万人)

2017年 約400万人(日帰り客 約300万人、宿泊客 約100万人)

- ・大きな課題 → 宿泊客が殆ど伸びていない。→ 泊食分離

### 5) 理念の作成

#### ①「住んで良し、訪れて良しの観光地づくり」

市民と来訪者が癒しの空間を共有できる地域づくりを常に考え、行動する由布市観光であるべき考え。

#### ②「滞在型・循環型保養温泉地づくり」



／ 湯布院地域 \ (由布院温泉・湯平温泉・塚原温泉)  
庄内地域 ⇔ 地域循環宿泊巡回 ⇔ 狭間地域  
(庄内温泉) (狭間温泉)

○由布市観光の課題

- ① コントロールできない事象の出現
- ② 湯布院中心部での人・車の飽和状態
- ③ 外国人旅行者への対応
- ④ 労働者・担い手の不足

○課題に対する取り組み状況

① 湯の坪街道周辺地区景観計画・景観協定の取り組み

- ・2005 年 合併に伴い、旧湯布院町に引き続き、由布市は、「景観行政団体」となる。
- ・2006 年 「湯の坪まちづくり協議会」発足、「湯の坪街道周辺景観づくり検討委員会」発足
- ・2007 年 現地調査～委員会(5 回)～地元説明会～  
色彩調査～店舗関係者説明会を実施
- ・2008 年 個別診断開始
  - 〃 由布市景観条例制定
  - 〃 「湯の坪街道周辺地区景観計画・景観協定」策定・締結

② 駅前の道路改良

- ・段差のない縁石・側溝、目地のない舗装、区間ごとに断面が変化等

③ 外国人旅行者への対応

情報発信拠点事業(YUFUinfo の建設)

- (1)多様な情報ニーズと多言語に対応した提供と案内。
- (2)地域住民や観光客に対する災害等緊急時における情報伝達・避難誘導手段の整備等。

○基本理念

- ・国内外の観光客が気軽に立ち寄れる施設。
- ・市内はもとより大分県内、九州広域周遊観光のハブ的な役割
- ・ふれあいとおもてなしの空間を創造する

(3)由布市の観光推進体制の確立

- ・計画の実現に向けて、今後、次の観点を踏まえて由布市の観光推進体制を提案

・これまでの、由布市一体・全体で観光を推進するための段階的な体制整備の歩みを踏まえて、更に5つの観点から体制を拡充

1) 官民の役割分担の明確化→官は、企画・統計・施設管理・安全対策等  
民は、情報発信、広報、販促活動等

2) 広域の観光推進組織と各地域の観光推進組織の役割分担の明確化  
→広域は、主に市場に対応するマーケティングとプロモーション  
地域は、主に住民主体でのまちづくり、魅力づくり

3) 各地域における観光協会と旅館組合の役割分担の明確化  
→観光協会は、地域の観光まちづくりの推進  
旅館組合は、業界団体として地位向上、発展に向けた取組の推進

4) 地域として求められる観光機能の拡充  
→科学的データをもとづく市場に対する情報発信に適う、付加価値を有する観光商品づくり(機能を付加)等

5) 観光部門を超えた総合性、観光総合産業の視点と強化  
→観光総合産業の視点での取組み(機能を付加)等

(4) 一般社団法人 由布市まちづくり観光局組織体制

住んでよし、訪れてよしの「滞在型・循環型保養温泉地」を目指すとともに、持続可能な観光まちづくりに貢献することを目的とする。

・地域固有の特徴・個性を再構築し、魅力的な由布市観光の形成とともに、観光のみならず農業、商業、工業をはじめとした地場産業の活力を最大限に引き出すことにより、地域経済の持続的な発展を図る。又行政の「観光施策(住んでよし)」と民間の「観光戦略(訪れてよし)」を融合させ、九州の広域周遊観光としてのハブ的役割を有する観光推進組織として取り組む。

#### ⑤ 労働者・担い手不足

・観光業に関係なく、労働者・担い手不足の解消は由布市においても課題。

現在は、問題解決への一步を踏み出した段階

・雇用労働に関するセミナーの開催【H29 事業】

「由布市ではたらく」をテーマにセミナーを開催。雇用者・労働者両方の視点に立ち、由布市で働き、生きることに対し、今何が重要かを議論

・異業種交流会の開催【H30 事業】

市内中小企業・小規模事業者間の業種の枠を超えた情報交換や価値創造の機会を創出すること及び参加者からの意見聴取を行うことで、今後の市の施策に反映させていくことを目的に開催。

#### ○更なる取り組み

大分では、今年度開催されたラグビーワールドカップの会場となり、外国人観光客で賑

わった。来年の東京オリンピックでは、更なる観光客が押し寄せることが予想される。  
その後のことも1~2年で考えていかななくてはならない。今後も今までの理念を大きくは崩さず、官民一体なり、まちづくりに取り組むとのこと。

#### ※参考

市長：相馬 尊重(そうま たかしげ)

議長：佐藤 郁夫(さとう いくお)

人口：34,324人(男性16,422人、女性17,902人)

世帯：15,666世帯

面積：319.32km<sup>2</sup>

議員定数：18人

財政力指数0.47 経常収支比率90.4 実質公債費比率7.0

(平成27年度由布市財政状況資料集)

#### ○自然

由布市は、大分県のほぼ中央に位置し、北は宇佐市と別府市、南は竹田市、西は玖珠郡(玖珠町と九重町)に接しています。東西24.7km、南北23.4km、にわたり、面積は319.32km<sup>2</sup>です。北部から南西部にかけては由布岳や黒岳など1,000m級の山々が連なり、由布岳の麓には標高約450mの由布院盆地が形成されています。これらの山々を源とする河川が大分川を形成し東西に流れています。中央部から東部にかけては、山麓地帯と大分川からの河岸段丘が広がっています。

由布市の気候は、標高の高い由布院盆地に代表される西部や北部では気温の日較差が大きく、冬には最低気温が氷点下になることも多く、積雪に見舞われる内陸性気候と、中央部から東部にかけての標高の低い地域の、雨が少なく温暖な瀬戸内気候とに二分されます。

農林業は、米を中心に野菜、花き、果実の栽培や畜産が盛んですが、農家数・農家人口とも減少しています。工業については、企業誘致の効果もあり、製造品出荷額は増加傾向にあります。商業については、社会環境の変化や大規模店の進出などにより商店数は減少傾向にあります。新規店舗の創業や進出はめざましく、新たな商業拠点地域が形成されています。観光業については、温泉や豊かな自然などに恵まれており、特に湯布院地域は保養温泉地として多くの観光客が訪れています。

#### ○平成の大合併(由布市 Wikipedia より)

合併後、旧3町の役場は『庁舎』として、市役所の機能を3分割し、それぞれ『庄内庁舎』・『挾間庁舎』・『湯布院庁舎』と呼称してきた。主要業務・市長室等は『庄内庁舎』、市議会・農業委員会等は『挾間庁舎』、教育委員会等は『湯布院庁舎』に設置し、全ての庁舎に地域

自治行政の中心となる『地域振興局』を設置していた。しかし、合併後から新庁舎建設・庁舎機能の集約が議論されており、選挙公約としても扱われることがあった。2016年7月19日、庄内庁舎の本館および増築された新館を『本庁舎』として、地域振興局を除くすべての市役所機能・市議会・教育委員会・農業委員会を集約したと同時に、市役所の部長職が廃止された。一方、『挟間庁舎』・『湯布院庁舎』には地域振興局・地域振興課・健康センター・防衛対策室(湯布院庁舎)のみ残り、支所業務を行っている。なお、消防本部については引き続き挟間町に設置している。





### 3. 福岡競艇場の概要

|             |                                |                |
|-------------|--------------------------------|----------------|
| (1) 施行者     | 福岡市<br>福岡都市圏広域行政事業組合           |                |
| (2) 設置年月日   | 昭和 28 年 8 月 13 日               |                |
| (3) 総敷地面積   | 90, 497 m <sup>2</sup>         |                |
| (4) 水面面積    | 82, 429 m <sup>2</sup>         |                |
| (5) 収容人員    | 15, 182 人（客数 3, 980 席）         |                |
| (6) 駐車場収容台数 | 2, 161 台                       |                |
| (7) 発売窓口数   | 235 窓（内キャッシュレス 114 台）          |                |
| (8) 開催予定日数  | 福岡市主催レース<br>福岡都市圏広域行政事務組合主催レース | 166 日<br>24 日  |
| (9) 外発売予定日数 | 本場<br>外向発売所（ペラポート福岡）           | 227 日<br>362 日 |

#### 2. 外向発売所（ペラポート福岡）

##### (1) ペラポート福岡整備の目的

年間を通して、ほぼ毎日舟券を発売（特にナイターレース）できる場所を整備し、仕事帰りのサラリーマンや OL など新たなお客さんを開拓することで売上の向上を図る。

##### (2) ペラポート福岡の施設概要

①開所年月日 平成 23 年 4 月 15 日（平成 29 年 2 月 1 日リニューアル）

②入場料 無料

③収容人員 約 1, 250 人

④営業日数 ほぼ毎日（約 360 日）

⑤営業時間 10：00～21：00

⑥発売窓口数 1 階 27 窓（内キャッシュレス 6 台）

2 階 67 窓（内キャッシュレス 58 台）

⑦ 2 階有料指定席 134 席

プレミアムボックス（24 席）・・・4, 000 円（17 時以降は 3, 000 円）

エグゼクティブボックス（32 席）・・・3, 000 円（17 時以降 2, 000 円）

ペラ坊シート（7 8 席）・・・2, 000 円（17 時以降は 1, 000 円）

※エグゼクティブボックスは、平成 25 年 4 月から 8 席増設（24 席→32 席）

プレミアムボックスは平成 29 年 2 月に新設

ペラ坊シート内にペアシート（8 組 16 席）を平成 29 年 2 月にリニューアル

(3)現状における効果

- ①ナイター利用者の獲得、定着
- ②本場非開催日における収益の確保
- ③他場との相互発売による福岡開催レースの場外売上増

【ペラポート福岡の売上】

| 区 分       | 2 7 年度 | 2 8 年度 | 2 9 年度 | 3 0 年度 | 2019 年度<br>(予算) |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 営業日数(日)   | 346    | 325    | 357    | 359    | 362             |
| 売 上(百万円)  | 14,702 | 12,963 | 15,656 | 15,706 | 15,527          |
| 平均／日(百万円) | 42.5   | 39.9   | 43.9   | 43.7   | 42.9            |

3. 2019 年度 ポートレース事業部職員配置状況

ポートレース事業部 68 名(職員 39・嘱託 29)

経営企画課 16 名(職員 16)

- 総務係 4 名(事務 4)
- 会計係 2 名(事務 2)
- 広報宣伝係 4 名(事務 4)
- 企画係 2 名(事務 2)
- 建築係 1 名(建築 1)
- 設備係 2 名(機械 1・電気 1)

開催運営課 51 名(職員 22・嘱託 29)

- 業務係 13 名(事務 6・嘱託 7)
- 整備係 13 名(事務 2・モーターボート整備士 9・嘱託 2)
- 警備係 24 名(事務 4・嘱託 20)

4. 2019 年度の主な取組

(1) 売上見込 61,767 百万円

- 本市主催レース 41,533 百万円
- うち SG(オールスター) 9,100 百万円
- 場間場外(受託発売) 20,234 百万円

## ○発売形態別の売上

(単位：百万円)

| 区分         |       | 30 年度当初予算 | 2019 年度当初予算 |
|------------|-------|-----------|-------------|
| 本市主催レース    |       | 37,938    | 41,533      |
|            | 場内    | 8,265     | 8,216       |
|            | 外向発売所 | 102       | 117         |
|            | 電話投票  | 15,259    | 17,996      |
|            | 場外    | 14,312    | 15,204      |
| 場間場外(受託発売) |       | 21,079    | 20,234      |
|            | 場内    | 5,557     | 4,824       |
|            | 外向発売所 | 15,522    | 15,410      |

## (2) SG ボートレースオールスター(笹川賞)

開催日程：2019 年 5 月 21 日(火)～5 月 26 日(日)(6 日間)

売上目標：91 億円 (30 年度 PGI マスターズチャンピオン実績：52 億円)

収益見込：約 3.6 億円

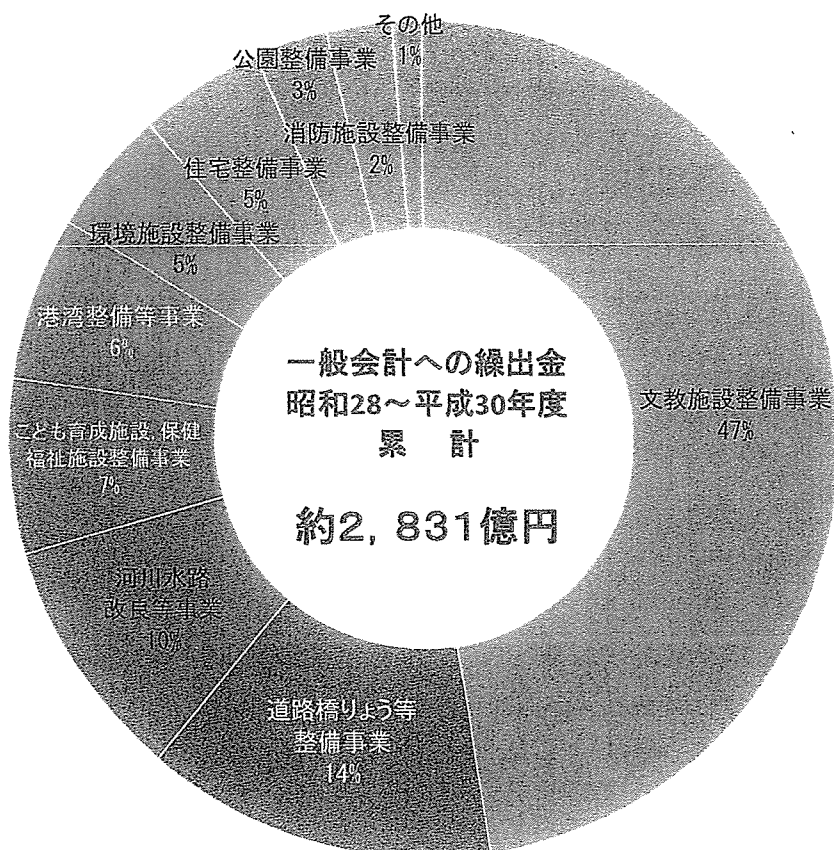
入場者見込：35,600 円



### (3) 一般会計への繰出金

平成31年度 20億円(平成30年度当初予算 20億円)

開設以来、一般会計へ約2,831億円を繰り入れ



繰出金の使途(昭和28年～平成30年度)

(単位:千円、%)

(単位:千円、%)

| 区 分                | 30年度<br>(予算) |       | 30年度末<br>累 計 |       | 31年度<br>(予算) |       | 31年度末<br>累 計 |       |
|--------------------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|
|                    |              | 比 率   |              | 比 率   |              | 比 率   |              | 比 率   |
| 文教施設整備事業           | 1,215,000    | 60.8  | 134,618,800  | 47.6  | 1,115,000    | 55.8  | 135,733,800  | 47.6  |
| 道路橋りょう等整備事業        | 10,000       | 0.5   | 38,665,700   | 13.7  | 10,000       | 0.5   | 38,675,700   | 13.6  |
| 河川水路改良等事業          | 5,000        | 0.3   | 26,544,000   | 9.4   | 5,000        | 0.3   | 26,549,000   | 9.3   |
| こども育成施設、保健福祉施設整備事業 | 50,000       | 2.5   | 19,229,401   | 6.8   | 150,000      | 7.5   | 19,379,401   | 6.8   |
| 港湾整備等事業            | 450,000      | 22.5  | 17,959,200   | 6.3   | 450,000      | 22.5  | 18,409,200   | 6.5   |
| 環境施設整備事業           | 15,000       | 0.8   | 13,705,000   | 4.8   | 15,000       | 0.8   | 13,720,000   | 4.8   |
| 住宅整備事業             | 195,000      | 9.8   | 13,939,400   | 4.9   | 195,000      | 9.8   | 14,134,400   | 5.0   |
| 公園整備事業             | 10,000       | 0.5   | 8,018,000    | 2.8   | 10,000       | 0.5   | 8,028,000    | 2.8   |
| 消防施設整備事業           | 50,000       | 2.5   | 7,120,000    | 2.5   | 50,000       | 2.5   | 7,170,000    | 2.5   |
| その他                | 0            | 0.0   | 3,289,170    | 1.2   | 0            | 0.0   | 3,289,170    | 1.2   |
| 計                  | 2,000,000    | 100.0 | 283,088,671  | 100.0 | 2,000,000    | 100.0 | 285,088,671  | 100.0 |

福岡競艇場の売上及び入場者数の推移(福岡都市圏開催を除く)

| 年度   | 日数  | 売 上         |         |          |             |         |          | 入 場 者     |        |          | 繰出金(B)     | 備 考                       |
|------|-----|-------------|---------|----------|-------------|---------|----------|-----------|--------|----------|------------|---------------------------|
|      |     | 総売上額        | 1日平均    | 対前年比     | 本場売上額(内数)   | 1日平均    | 対前年比     | 総入場者数     | 1日平均   | 対前年比     |            |                           |
|      | 日   | 千円          | 千円      |          | 千円          | 千円      |          | 人         | 人      |          | 千円         |                           |
| 平成元  | 156 | 104,449,297 | 669,547 | 34.9 %   | 95,915,842  | 614,845 | 23.9 %   | 1,681,257 | 10,777 | 8.5 %    | 10,480,000 | SG開催<br>MB記念              |
| 2    | 156 | 107,950,785 | 691,992 | 3.4 %    | 107,950,785 | 691,992 | 12.5 %   | 1,714,917 | 10,993 | 2.0 %    | 13,100,000 |                           |
| 3    | 156 | 110,212,753 | 706,492 | 2.1 %    | 110,212,753 | 706,492 | 2.1 %    | 1,752,735 | 11,235 | 2.2 %    | 12,600,000 |                           |
| 4    | 156 | 102,690,565 | 658,273 | ▲ 6.8 %  | 102,690,565 | 658,273 | ▲ 6.8 %  | 1,737,056 | 11,135 | ▲ 0.9 %  | 11,300,000 |                           |
| 5    | 156 | 113,642,874 | 728,480 | 10.7 %   | 99,080,611  | 635,132 | ▲ 3.5 %  | 1,763,789 | 11,306 | 1.5 %    | 10,100,000 | SG開催<br>MB記念              |
| 6    | 156 | 91,660,699  | 587,569 | ▲ 19.3 % | 91,660,699  | 587,569 | ▲ 7.5 %  | 1,694,398 | 10,862 | ▲ 3.9 %  | 9,000,000  |                           |
| 7    | 156 | 88,887,059  | 569,789 | ▲ 3.0 %  | 88,887,059  | 569,789 | ▲ 3.0 %  | 1,639,409 | 10,509 | ▲ 3.2 %  | 5,500,000  |                           |
| 8    | 156 | 111,073,196 | 712,008 | 25.0 %   | 92,390,035  | 592,244 | 3.9 %    | 1,657,930 | 10,628 | 1.1 %    | 6,500,000  | SG開催<br>全日本               |
| 9    | 156 | 79,862,713  | 511,940 | ▲ 28.1 % | 79,862,713  | 511,940 | ▲ 13.6 % | 1,543,304 | 9,893  | ▲ 6.9 %  | 6,000,000  |                           |
| 10   | 156 | 90,533,489  | 580,343 | 13.4 %   | 72,466,652  | 464,530 | ▲ 9.3 %  | 1,428,394 | 9,156  | ▲ 7.4 %  | 6,000,000  | SG開催<br>全日本               |
| 11   | 156 | 59,835,162  | 383,559 | ▲ 33.9 % | 59,835,162  | 383,559 | ▲ 17.4 % | 1,297,396 | 8,317  | ▲ 9.2 %  | 4,800,000  |                           |
| 12   | 156 | 52,955,430  | 339,458 | ▲ 11.5 % | 52,955,430  | 339,458 | ▲ 11.5 % | 1,204,738 | 7,723  | ▲ 7.1 %  | 2,500,000  |                           |
| 13   | 156 | 48,690,892  | 312,121 | ▲ 8.1 %  | 48,351,929  | 309,948 | ▲ 8.7 %  | 1,170,110 | 7,501  | ▲ 2.9 %  | 1,000,000  |                           |
| 14   | 156 | 42,382,024  | 271,680 | ▲ 13.0 % | 42,082,552  | 269,760 | ▲ 13.0 % | 1,123,920 | 7,205  | ▲ 3.9 %  | 1,000,000  |                           |
| 15   | 156 | 50,190,671  | 321,735 | 18.4 %   | 38,650,146  | 247,757 | ▲ 8.2 %  | 1,071,680 | 6,870  | ▲ 4.6 %  | 600,000    | SG開催<br>鳳凰賞               |
| 16   | 156 | 52,639,420  | 337,432 | 4.9 %    | 36,909,400  | 236,599 | ▲ 4.5 %  | 1,059,868 | 6,794  | ▲ 1.1 %  | 800,000    | SG開催<br>全日本               |
| 17   | 156 | 32,934,622  | 211,119 | ▲ 37.4 % | 30,740,899  | 197,057 | ▲ 16.7 % | 976,723   | 6,261  | ▲ 7.8 %  | 600,000    |                           |
| 18   | 156 | 46,833,837  | 300,217 | 42.2 %   | 32,589,364  | 208,906 | 6.0 %    | 980,182   | 6,283  | 0.4 %    | 600,000    | SG開催<br>全日本               |
| 19   | 156 | 49,634,636  | 318,171 | 6.0 %    | 32,070,453  | 205,580 | ▲ 1.6 %  | 960,696   | 6,158  | ▲ 2.0 %  | 1,700,000  | SG開催<br>賞金王               |
| 20   | 156 | 27,480,658  | 176,158 | ▲ 44.6 % | 23,292,609  | 149,312 | ▲ 27.4 % | 880,380   | 5,643  | ▲ 8.4 %  | 1,300,000  |                           |
| 21   | 162 | 38,177,876  | 235,666 | 33.8 %   | 26,185,257  | 161,637 | 8.3 %    | 882,471   | 5,447  | ▲ 3.5 %  | 1,150,000  | SG開催<br>笹川賞               |
| 22   | 147 | 25,337,022  | 172,361 | ▲ 26.9 % | 18,947,667  | 128,896 | ▲ 20.3 % | 727,874   | 4,952  | ▲ 9.1 %  | 900,000    |                           |
| 23   | 171 | 38,630,437  | 225,909 | 31.1 %   | 23,016,125  | 134,597 | 4.4 %    | 737,970   | 4,316  | ▲ 12.8 % | 800,000    | SG開催<br>MB記念              |
| 24   | 162 | 33,213,302  | 205,020 | ▲ 9.2 %  | 19,716,235  | 121,705 | ▲ 9.6 %  | 649,323   | 4,008  | ▲ 7.1 %  | 1,100,000  | SG開催<br>全日本               |
| 25   | 176 | 36,853,252  | 209,393 | 2.1 %    | 21,383,711  | 121,498 | ▲ 0.2 %  | 655,609   | 3,725  | ▲ 7.1 %  | 1,300,000  | SG開催<br>笹川賞               |
| 26   | 176 | 38,267,493  | 217,429 | 3.8 %    | 22,839,541  | 129,770 | 6.8 %    | 641,937   | 3,647  | ▲ 2.1 %  | 1,500,000  | SG開催<br>オールスター            |
| 27   | 162 | 35,994,518  | 222,188 | 2.2 %    | 20,844,326  | 128,669 | ▲ 0.8 %  | 571,130   | 3,525  | ▲ 3.3 %  | 1,500,000  | PGI開催<br>クイーンズ<br>クライマックス |
| 28   | 168 | 41,288,486  | 245,765 | 10.6 %   | 23,874,766  | 142,112 | 10.4 %   | 550,972   | 3,280  | ▲ 7.0 %  | 1,300,000  | SG開催<br>ダービー              |
| 29   | 162 | 42,800,677  | 264,202 | 7.5 %    | 26,128,316  | 161,286 | 13.5 %   | 507,893   | 3,135  | ▲ 4.4 %  | 1,700,000  | SG開催<br>オールスター            |
| 30   | 162 | 40,065,656  | 247,319 | ▲ 6.4 %  | 24,926,470  | 153,867 | ▲ 4.6 %  | 459,162   | 2,834  | ▲ 9.6 %  | 2,000,000  | PGI開催<br>マスターズ<br>チャンピオン  |
| 31見込 | 166 | 41,533,000  | 250,199 | 1.2 %    | 26,329,000  | 158,608 | 3.1 %    | 454,300   | 2,737  | ▲ 3.4 %  | 2,000,000  | SG開催<br>オールスター            |

※総売上額には、福岡市主催レースの合計額(自場売上額+外向発売所売上額+場間場外売上+電話投票売上)

※本場売上額は、自場売上額+電話投票+外向発売所売上額の合計額。

一般会計繰出金 累計 2,830億8,867万1千円  
(昭和28年度～平成30年度)

福岡競艇場の場間場外発売(受託事業)の売上推移

| 区分   | 場 内       |            |          |             |          | 外 向       |            |          |             |          | 計              |
|------|-----------|------------|----------|-------------|----------|-----------|------------|----------|-------------|----------|----------------|
| 年度   | 日数<br>(A) | 売上(B)      | 対前年比     | 1日平均<br>B/A | 対前年比     | 日数<br>(C) | 売上(D)      | 対前年比     | 1日平均<br>D/C | 対前年<br>比 | 総売上<br>(B)+(D) |
|      | 日         | 千円         |          | 千円          |          | 日         | 千円         |          | 千円          |          | 千円             |
| 13   | 42        | 7,883,214  | ▲ 2.0 %  | 187,696     | ▲ 20.7 % |           |            |          |             |          | 7,883,214      |
| 14   | 51        | 9,238,164  | 17.2 %   | 181,140     | ▲ 3.5 %  |           |            |          |             |          | 9,238,164      |
| 15   | 65        | 8,714,934  | ▲ 5.7 %  | 134,076     | ▲ 26.0 % |           |            |          |             |          | 8,714,934      |
| 16   | 83        | 9,824,215  | 12.7 %   | 118,364     | ▲ 11.7 % |           |            |          |             |          | 9,824,215      |
| 17   | 96        | 12,375,164 | 26.0 %   | 128,908     | 8.9 %    |           |            |          |             |          | 12,375,164     |
| 18   | 129       | 13,568,181 | 9.6 %    | 105,180     | ▲ 18.4 % |           |            |          |             |          | 13,568,181     |
| 19   | 149       | 13,746,627 | 1.3 %    | 92,259      | ▲ 12.3 % |           |            |          |             |          | 13,746,627     |
| 20   | 213       | 17,261,279 | 25.6 %   | 81,039      | ▲ 12.2 % |           |            |          |             |          | 17,261,279     |
| 21   | 191       | 14,145,344 | 14.3 %   | 74,059      | ▲ 42.5 % |           |            |          |             |          | 14,145,344     |
| 22   | 171       | 10,594,669 | ▲ 25.1 % | 61,957      | ▲ 16.3 % |           |            |          |             |          | 10,594,669     |
| 23   | 198       | 8,744,485  | ▲ 17.5 % | 44,164      | ▲ 28.7 % | 334       | 9,429,505  | 皆増       | 28,232      | 皆増       | 18,173,990     |
| 24   | 196       | 7,976,219  | ▲ 8.8 %  | 40,695      | ▲ 7.9 %  | 349       | 12,446,445 | 32.0 %   | 35,663      | 26.3 %   | 20,422,664     |
| 25   | 201       | 7,252,079  | ▲ 9.1 %  | 36,080      | ▲ 11.3 % | 349       | 13,658,681 | 9.7 %    | 39,137      | 9.7 %    | 20,910,760     |
| 26   | 190       | 6,512,484  | ▲ 10.2 % | 34,276      | ▲ 5.0 %  | 351       | 14,225,218 | 4.1 %    | 40,528      | 3.6 %    | 20,737,702     |
| 27   | 199       | 6,237,341  | ▲ 4.2 %  | 31,343      | ▲ 8.6 %  | 350       | 14,559,441 | 2.3 %    | 41,598      | 2.6 %    | 20,796,782     |
| 28   | 251       | 7,264,650  | 16.5 %   | 28,943      | ▲ 7.7 %  | 325       | 12,763,326 | ▲ 12.3 % | 39,272      | ▲ 5.6 %  | 20,027,976     |
| 29   | 234       | 5,726,174  | ▲ 21.2 % | 24,471      | ▲ 15.5 % | 357       | 15,514,273 | 21.6 %   | 43,457      | 10.7 %   | 21,240,447     |
| 30   | 231       | 5,090,579  | ▲ 11.1 % | 22,037      | ▲ 9.9 %  | 359       | 15,578,018 | 0.4 %    | 43,393      | ▲ 0.1 %  | 20,668,597     |
| 31見込 | 227       | 4,824,000  | ▲ 5.2 %  | 21,251      | ▲ 3.6 %  | 362       | 15,410,000 | ▲ 1.1 %  | 42,569      | ▲ 1.9 %  | 20,234,000     |

※受託収益＝受託収入－受託事業費

# SG開催場一覧表

| 年度   | 笹川賞     | クラチャン   | オープン    | MB記念    | ダービー     | チャレンジ   | 賞金王     | 総理杯     | 地区対抗    |
|------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|
| S28  |         |         |         |         | 若 松      |         |         |         |         |
| S29  |         |         |         |         | 徳 山      |         |         |         |         |
| S30  |         |         |         | 大 村     | 福 岡      |         |         |         | 児 島     |
| S31  |         |         |         | 津       | 浜名湖      |         |         |         | 下 関     |
| S32  |         |         |         | 琵琶湖     |          |         |         |         | 尼 崎     |
| S33  |         |         |         | 芦 屋     | 江戸川      |         |         |         | 鳴 門     |
| S34  |         |         |         | 若 松     | 福 岡      |         |         |         | 平和島     |
| S35  |         |         |         | 平和島     | 若 松      |         |         |         | 芦 屋     |
| S36  |         |         |         | 宮 島     | 住之江      |         |         |         | 平和島     |
| S37  |         |         |         | 住之江     | 平和島      |         |         |         | 若 松     |
| S38  |         |         |         | 下 関     | 住之江      |         |         |         | 多摩川     |
| S39  |         |         |         | 芦 屋     | 平和島      |         |         |         | 蒲 郡     |
| S40  |         |         |         | 若 松     | 住之江      |         |         | 平和島     | 多摩川     |
| S41  |         |         |         | 福 岡     | 住之江      |         |         | 住之江     | 戸 田     |
| S42  |         |         |         | 常 滑     | 尼 崎      |         |         | 住之江     | 平和島     |
| S43  |         |         |         |         | 平和島      |         |         | 戸 田     | 浜名湖     |
| S44  |         |         |         | 丸 亀     | 住之江      |         |         | 住之江     | 福 岡     |
| S45  |         |         |         | 下 関     | 住之江      |         |         | 蒲 郡     | 常 滑     |
| S46  |         |         |         | 桐 生     | 住之江      |         |         | 福 岡     | 下 関     |
| S47  |         |         |         | 福 岡     | 住之江      |         |         | 浜名湖     | 蒲 郡     |
| S48  |         |         |         | 下 関     | 住之江      |         |         | 常 滑     | 住之江     |
| S49  | 住之江     |         |         | 丸 亀     | 住之江      |         |         | 下 関     |         |
| S50  | 常 滑     |         |         | 下 関     | 住之江      |         |         | 住之江     |         |
| S51  | 住之江     |         |         | 桐 生     | 蒲 郡      |         |         | 下 関     |         |
| S52  | 住之江     |         |         | 浜名湖     | 福 岡      |         |         | 丸 亀     |         |
| S53  | 住之江     |         |         | 唐 津     | 住之江      |         |         | 浜名湖     |         |
| S54  | 住之江     |         |         | 丸 亀     | 福 岡      |         |         | 蒲 郡     |         |
| S55  | 住之江     |         |         | 常 滑     | 唐 津      |         |         | 児 島     |         |
| S56  | 住之江     |         |         | 平和島     | 浜名湖      |         |         | 下 関     |         |
| S57  | 住之江     |         |         | 蒲 郡     | 桐 生      |         |         | 平和島     |         |
| S58  | 住之江     |         |         | 戸 田     | 平和島      |         |         | 常 滑     |         |
| S59  | 浜名湖     |         |         | 若 松     | 住之江      |         |         | 平和島     |         |
| S60  | 住之江     |         |         | 下 関     | 福 岡      |         |         | 平和島     |         |
| S61  | 住之江     |         |         | 芦 屋     | 桐 生      |         | 住之江     | 蒲 郡     |         |
| S62  | 尼 崎     |         |         | 丸 亀     | 平和島      |         | 住之江     | 戸 田     |         |
| S63  | 住之江     |         |         | 浜名湖     | 多摩川      |         | 住之江     | 戸 田     |         |
| H01  | 下 関     |         |         | 福 岡     | 住之江      |         | 住之江     | 平和島     |         |
| H02  | 住之江     |         |         | 丸 亀     | 戸 田      |         | 住之江     | 平和島     |         |
| H03  | 住之江     | 住之江     |         | 下 関     | 尼 崎      |         | 平和島     | 蒲 郡     |         |
| H04  | 住之江     | 蒲 郡     |         | 浜名湖     | 平和島      |         | 住之江     | 戸 田     |         |
| H05  | 丸 亀     | 住之江     |         | 福 岡     | 戸 田      |         | 住之江     | 平和島     |         |
| H06  | 戸 田     | 住之江     |         | 児 島     | 戸 滑      |         | 住之江     | 平和島     |         |
| H07  | 浜名湖     | 桐 生     |         | 三 国     | 丸 亀      |         | 住之江     | 平和島     |         |
| H08  | 児 島     | 多摩川     | 住之江     | 蒲 郡     | 福 岡      |         | 戸 田     | 住之江     |         |
| H09  | 常 滑     | 尼 崎     | 平和島     | 若 松     | 唐 津      |         | 住之江     | 丸 亀     |         |
| H10  | 桐 生     | 宮 島     | 三 国     | 多摩川     | 福 岡      | 平和島     | 住之江     | 児 島     |         |
| H11  | 蒲 郡     | 唐 津     | 若 松     | 児 島     | 戸 田      | 住之江     | 平和島     | 浜名湖     |         |
| H12  | 蒲 郡     | 下 関     | 宮 島     | 若 松     | 戸 田      | 住之江     | 平和島     | 尼 崎     |         |
| H13  | 浜名湖     | 唐 津     | 尼 崎     | 多摩川     | 常 滑      | 児 島     | 住之江     | 平和島     |         |
| H14  | 尼 崎     | 宮 島     | 若 松     | 蒲 郡     | 平和島      | 津       | 住之江     | 戸 田     |         |
| H15  | 平和島     | 丸 亀     | 蒲 郡     | 唐 津     | 戸 田      | 琵琶湖     | 住之江     | 福 岡     |         |
| H16  | 尼 崎     | 浜名湖     | 若 松     | 蒲 郡     | 福 岡      | 児 島     | 住之江     | 多摩川     |         |
| H17  | 常 滑     | 下 関     | 桐 生     | 若 松     | 津        | 芦 屋     | 住之江     | 平和島     |         |
| H18  | 戸 田     | 浜名湖     | 若 松     | 桐 生     | 福 岡      | 丸 亀     | 住之江     | 平和島     |         |
| H19  | 住之江     | 戸 田     | 桐 生     | 蒲 郡     | 平和島      | 浜名湖     | 福 岡     | 児 島     |         |
| H20  | 平和島     | 芦 屋     | 蒲 郡     | 若 松     | 丸 亀      | 浜名湖     | 住之江     | 多摩川     |         |
| H21  | 福 岡     | 戸 田     | 若 松     | 丸 亀     | 尼 崎      | 常 滑     | 住之江     | 平和島     |         |
| H22  | 浜名湖     | 大 村     | 丸 亀     | 蒲 郡     | 桐 生      | 唐 津     | 住之江     | 戸 田     |         |
| H23  | 尼 崎     | 児 島     | 蒲 郡     | 福 岡     | 平和島      | 大 村     | 住之江     | 戸 田     |         |
| H24  | 浜名湖     | 芦 屋     | 尼 崎     | 桐 生     | 福 岡      | 児 島     | 住之江     | 平和島     |         |
| H25  | 福 岡     | 常 滑     | 若 松     | 丸 亀     | 平和島      | 津       | 住之江     | 尼 崎     |         |
| H26  | 福 岡     | 浜名湖     | 丸 亀     | 若 松     | 常 滑      | 下 関     | 住之江     | 平和島     |         |
| H27  | 大 村     | 宮 島     | 三 国     | 蒲 郡     | 浜名湖      | 芦 屋     | 住之江     | 平和島     |         |
| H28  | 尼 崎     | 蒲 郡     | 鳴 門     | 桐 生     | 福 岡      | 大 村     | 住之江     | 児 島     |         |
| H29  | 福 岡     | 鳴 門     | 丸 亀     | 若 松     | 平和島      | 下 関     | 住之江     | 浜名湖     |         |
| H30  | 尼 崎     | 徳 山     | 若 松     | 丸 亀     | 蒲 郡      | 芦 屋     | 住之江     | 戸 田     |         |
| H31  | 福 岡     | 多摩川     | 常 滑     | 大 村     | 児 島      | 桐 生     | 住之江     | 平和島     |         |
| 実施回数 | 46      | 29      | 24      | 64      | 66       | 22      | 34      | 55      | 19      |
| うち福岡 | ( 5 回 ) | ( 0 回 ) | ( 0 回 ) | ( 5 回 ) | ( 11 回 ) | ( 0 回 ) | ( 1 回 ) | ( 2 回 ) | ( 1 回 ) |

| 開催場 | 回数  |
|-----|-----|
| 桐 生 | 13  |
| 戸 田 | 20  |
| 江戸川 | 1   |
| 平和島 | 40  |
| 多摩川 | 9   |
| 浜名湖 | 21  |
| 蒲 郡 | 22  |
| 常 滑 | 14  |
| 津   | 4   |
| 三 国 | 3   |
| 琵琶湖 | 2   |
| 住之江 | 71  |
| 尼 崎 | 16  |
| 鳴 門 | 3   |
| 丸 亀 | 18  |
| 児 島 | 13  |
| 宮 島 | 5   |
| 徳 山 | 2   |
| 下 関 | 16  |
| 若 松 | 19  |
| 芦 屋 | 9   |
| 福 岡 | 25  |
| 唐 津 | 7   |
| 大 村 | 6   |
| 計   | 359 |

地区対抗含む



# プレミアムG I 開催場一覧

| 年度   | マスターズ<br>(名人戦) | 新鋭王座<br>決定戦 | ヤング<br>ダービー | レディース<br>チャンピオン<br>(女子王座) | クイーンズ<br>クライマックス<br>(賞金女王) |
|------|----------------|-------------|-------------|---------------------------|----------------------------|
| S61  |                | 平和島         |             |                           |                            |
| S62  |                | 多摩川         |             | 浜名湖                       |                            |
| S63  |                | 尼崎          |             | 多摩川                       |                            |
| H01  |                | 蒲郡          |             | 多摩川                       |                            |
| H02  |                | 徳山          |             | 蒲郡                        |                            |
| H03  |                | 浜名湖         |             | 戸田                        |                            |
| H04  |                | 尼崎          |             | 多摩川                       |                            |
| H05  |                | 常滑          |             | 浜名湖                       |                            |
| H06  |                | 丸亀          |             | 多摩川                       |                            |
| H07  |                | 下関          |             | 戸田                        |                            |
| H08  |                | 尼崎          |             | 蒲郡                        |                            |
| H09  |                | 宮島          |             | 三国                        |                            |
| H10  |                | 住之江         |             | 尼崎                        |                            |
| H11  |                | 琵琶湖         |             | 丸亀                        |                            |
| H12  | 住之江            | 浜名湖         |             | 多摩川                       |                            |
| H13  | 住之江            | 津           |             | 徳山                        |                            |
| H14  | 住之江            | 丸亀          |             | 芦屋                        |                            |
| H15  | 尼崎             | 徳山          |             | 多摩川                       |                            |
| H16  | 住之江            | 宮島          |             | 大村                        |                            |
| H17  | 戸田             | 唐津          |             | 浜名湖                       |                            |
| H18  | 尼崎             | 大村          |             | 徳山                        |                            |
| H19  | 大村             | 丸亀          |             | 津                         |                            |
| H20  | 宮島             | 琵琶湖         |             | 尼崎                        |                            |
| H21  | 鳴門             | 浜名湖         |             | 下関                        |                            |
| H22  | 徳山             | 宮島          |             | 三国                        |                            |
| H23  | 常滑             | 芦屋          |             | 多摩川                       |                            |
| H24  | 下関             | 徳山          |             | 若松                        | 大村                         |
| H25  | 琵琶湖            | 桐生          |             | 鳴門                        | 芦屋                         |
| H26  | 唐津             |             | 戸田          | 三国                        | 住之江                        |
| H27  | 児島             |             | 尼崎          | 丸亀                        | 福岡                         |
| H28  | 琵琶湖            |             | 常滑          | 津                         | 平和島                        |
| H29  | 津              |             | 蒲郡          | 芦屋                        | 大村                         |
| H30  | 福岡             |             | 浜名湖         | 桐生                        | 平和島                        |
| H31  | 宮島             |             | 三国          | 蒲郡                        | 徳山                         |
| 実施回数 | 20             | 28          | 6           | 33                        | 8                          |
| うち福岡 | ( 1 回 )        | ( 0 回 )     | ( 0 回 )     | ( 0 回 )                   | ( 1 回 )                    |

| 開催場 | 回数 |
|-----|----|
| 桐生  | 2  |
| 戸田  | 4  |
| 江戸川 | 0  |
| 平和島 | 3  |
| 多摩川 | 8  |
| 浜名湖 | 7  |
| 蒲郡  | 5  |
| 常滑  | 3  |
| 津   | 4  |
| 三国  | 4  |
| 琵琶湖 | 4  |
| 住之江 | 6  |
| 尼崎  | 8  |
| 鳴門  | 2  |
| 丸亀  | 5  |
| 児島  | 1  |
| 宮島  | 5  |
| 徳山  | 7  |
| 下関  | 3  |
| 若松  | 1  |
| 芦屋  | 4  |
| 福岡  | 2  |
| 唐津  | 2  |
| 大村  | 5  |
| 計   | 95 |

行政視察（大分県豊後高田市 10月29日）

大澤 映男

平成17年3月に1市2町で合併。合併当時は26,100人であったが現在、22,630人。人口増施策が行われている。全国八幡宮である宇佐神宮があり観光客が訪れる。「豊後高田昭和の町」の取り組み背景として『商店街が最も元気だった「昭和30年代」の賑わいをもう一度』をコンセプトとしてスタートした。平成9年に「豊後高田市商店街・商業集積等活性化基本構想策定調査業」を実施。中心市街地のコンセプトを設定。商店街の70%が昭和30年代以前の建物であったことが判明した事にもより、「豊後高田昭和の町」が本格的に動き始める。昭和ロマンを取り入れることにより、もともとあった商店街を改良。商店街・商工会・市役所に「まちを何とかしないといけない。もう一度甦らせたい」という熱い思いを持った人達がいた。現在では観光客が毎年増え、外からの移住者も増えている。市民の一体感、アイデア、おもてなしの心が素晴らしかった。ロマンバスの運行が土日ということで見学できなかったのが残念であった。

由布市（10月30日）

平成17年10月3町が合併。現在人口35,000人。

湯布院のまちづくりの基本は、民間主導のまちづくり、そして西ドイツのバーデンバーデンにみる森林公園都市の大切さが説かれている西ドイツのクアオルト構想によるものである。

西ドイツに学ぶ「保養温泉地構想」がスタートし、官民一体となった取り組みが始まった。辻馬車の運行や駅前の交通環境整備、また4階以上の建物・華美な建物の建築に対し規制をする等、新たな企画や開発の抑制と誘導が行われた。「住んで良し、訪れて良しの観光地づくり」「滞在型・循環型保養地温泉地づくり」という理念のもとに観光動態は、約100万人（1970年）→約400万人（2017）と増加。大分県が今年度開催されたラグビーワールドカップの会場となったため、外国人観光客も賑わっていた。

観光に訪れ、そのまま移住する方もいるとのこと。

両市ともアイデア、ヤル気、住民の一体感で成功していると感じとれた。

成果・所感

新政クラブ 金子 實

1 豊後高田市における市街地活性化の取り組みについての

10月29日、豊後高田市の「市街地活性化の取り組み」についての説明を受け、後に案内人により商店街等現地視察を行なった。

豊後高田市は、古から宇佐神宮の在庫として、その経済力を背景に山岳仏教文化を開花させた。また、西瀬戸地域との交流拠点として繁栄してきた。近年、都市部への人口流出、高齢化過疎化が進行している状況とのことであった。

「昭和の町」づくりは、繁栄した「昭和30年代の賑わいをもう一度」をコンセプトに平成9年にスタートした。平成12年「商店街の街並みと修景に関する調査事業」を実施、商店街の70%が昭和30年代以前の建物であることが判明した。

その後の「昭和の町」づくりは、「昭和の建築再生、町並み景観づくり」に、国の支援制度を積極的に活用し事業を展開してきた。

また、平成18年には豊後高田市商工会議所、観光まちづくり会社、高田市の3者で協議会を設置し、「観光まちづくり会社」を設立した。

現在の観光拠点施設は、旧地主の野村家が所有する農業倉庫をリノベーションし、「昭和のロマン蔵」を中心に

- ・ボンネットバスによる昔の小学校や民家の体験
- ・案内人による語り部、方言交じりでの町案内
- ・昭和の町展示館
- ・一店一宝の展示

など、「昭和の時代が体験できる町」として、観光まちづくり会社、商店街、行政が積極的に取り組んでいることが実感できた。

2 由布市観光行政全般について

10月30日由布市湯布院町支所において、「由布市観光行政」についての説明を受け、後に湯布院町の現地視察を行なった。

旧湯布院町のまちづくりは、昭和30年初代町長岩尾氏により、民間主導のまちづくりと、西ドイツの森林公園都市に学ぶ「保養温泉地構想」がスタートし、官民一体となった取り組みが始まった。

昭和50年大分中部地震が発生、湯布院全滅の風評が広がる中、元気な湯布院を発信するため、辻馬車の運行、映画祭、音楽祭、牛喰絶叫大会など新たな取り組みを開始した。

また、昭和60年代無計画なリゾート開発が進行し、開発の規制や民間活力導入等の取り組みを実施し「潤いのあるまちづくり条例」を制定、後に「由布市景観条例」を制定、湯布院のまちづくりコンセプトを尊重する施策を導入した。



平成29年の湯布院の観光客数は年間約400万人（日帰り客300万人、宿泊客100万人）、大きな課題としては、宿泊客の停滞、泊食分離が進んでいる中、宿泊客をどのように確保するか、できるかが今後の取り組みの課題とのことであった。

由布市全体の観光課題としては

- ・コントロールできない事象の出現
- ・湯布院中心部での人、車の飽和状態
- ・外国人観光客への対応
- ・労働者、担い手の不足

の解消が市全体の観光課題となっているとの説明を受けた。

視察日は平日にもかかわらず、若者、外国人等を主に大きな賑わいであり、観光の歴史と観光客への真摯の対応について実感した。

### 3 福岡競艇場の施設の概要及び主な取り組みについて

10月31日福岡競艇場において、施設の概要と主な取り組みについての説明を受けた。

施行者は福岡市（166日開催）、福岡都市圏広域行政事業組合（24日開催）の2者で開催している。また、敷地内には、平成23年4月に外売発売所「ペラポート福岡」が整備されほぼ毎日舟券を発売している。

また、職員の配置状況は事業部全体で68人（職員39人、嘱託29人）体制で運営されている。なお、広域行政事業組合の開催日は、福岡市が受託し運営している。

平成31年度の売上見込みは受託発売を含め61、767百万円で、一般会計への繰出金は20億円を見込んでおり、また、昭和28年～平成30年度までの一般会計への累計繰出金は約2、831億円との説明を受けた。

今回の視察は、それぞれの市にある地域の財産に着目し、民間活力の導入と役所のサポートによる施策の実施など大いに参考になり、3日間にわたる視察研修は有意義なものであった。

## 成果、所感

みどり市議会議員 上岡克己

今回の視察研修は、これからの議員活動に  
大いに役立つ、当を得た研修であったと考えています。  
視察先から沢山の資料をいただいた中で、特に簡潔  
にわかりやすくまとめた由布市の今後、10年間のまちづくり  
の指針と総合計画「ゆ〜ふ〜と一緒に」ができることから  
やっていこう！

その中味は子供でもわかるような絵を沢山つかい、  
わかりやすい。その先さきもみえる。

資料づくりの参考にしたらどうかと思っている。

## 1. 豊後高田市の成果・所感

豊後高田市の「昭和の町」は、『商店街が最も元気だった「昭和 30 年代」の賑わいをもう一度』をテーマに、私の生まれた時代へのタイムスリップ的な取組でもあり、懐かしさも手伝って、興味深く説明を拝聴させていただきました。今後のみどり市の商業と観光の一体化による中心市街地の再生や観光交流人口の増大に向け、多いに参考にさせていただきたいと思います。

特に、「昭和の町」の開設にあたり興味深いのが、①この取組の仕掛け人的な市民リーダーの登場や活躍、②昭和 30 年代以降、大掛かりな整備をしていなかったことが逆に功を奏し、古くて不便だと思われていた既存商店街が、歴史と伝統のある昭和の姿をとどめた貴重な地域資源であることに気付いたこと、③開設にあたって全国への視察が行われたが、昭和をテーマに作られている新横浜ラーメン博物館や、同じコンセプトの青梅市、一店一宝の山形県高島町など、関東以北に参考にした先進地が集中していること、④行政や商工会議所の係わり方など、現地に赴かなければ理解できない、体験に基づいた貴重な情報や裏話に触れることができ大変有意義な研修・視察となりました。

## (1) 経緯・経過

昭和 30 年代には中心市街地に 300 店を越える店舗が並んでにぎわっていたが、時代の流れとともに個人商店の対面販売はスーパーマーケットに押され、そのスーパーマーケットとも郊外型の大規模店の進出により、消えてしまい空き店舗が増え、人通りが商店街から消えてしまいました。

平成 4 年当時の「豊後高田市商業活性化構想」では、一旦商店街を全部壊して、町のど真ん中にドーム型の野球場や商業施設を作り、町を全部作り直して活性化しようというものだったそうです。そのことに危機感を持った若手メンバー 4 人（店主・商工会議所職員）が立ち上がり、平成 12 年に 250 店舗を対象に「商店街の街並みと修景に関する調査事業」を実施し、70%が昭和 30 年代以前の建物でることが判明しました。平成 13 年から、昭和 30 年代をテーマに店舗の外観の再現や、看板を昭和の看板に戻す修景作業を行い 7 店舗により「昭和の町」への本格的な取り組みがスタートしました。

もともとは商店の有志と商工会議所でスタートした事業のため、平成 14・15 年頃は予想以上の反響に、窓口対応が商工会議所に集中し、商工会議所の職員が本来の業務に一切手が付けられない全く余裕にない状況に追い込まれ、職員たちは限界に近づきつつありました。これを見かねた市が、第三セクター方式の「豊後高田市観光まちづくり株式会社」を設立することになりました。

## (2) 行政や商工会議所の係わり方

商店主や商工会議所職、市職員の若手たちで、「昭和の町」をテーマに再生していくことを企画し、商工会議所や市はこれを支援しました。しかし、受入体制がまだ十分で

はなかったことから、窓口となった商工会議所は過剰な業務を抱えることになり、これを見かねた市が、平成 17 年 11 月に第三セクター方式の「豊後高田市観光まちづくり株式会社」を設立しました。当初は市が 5,000 万円、商工会議所が 500 万円、金融機関 5 社が 2,000 万円、一般株主 10 人が 2,000 万円を出資し、合計 9,500 万円の資本金でスタートしましたが、現在では殆どが市の出資（予算）になっています。

### (3) 課題

①「ナミヤ雑貨店の奇蹟」、「坂道のアポロン」などの映画ロケ地や、レトロモダンな街づくりを前面に出し、積極的にマスメディアを活用しているが、マスコミの露出が減ると観光客も減るという不安定さもある。

②現在、昭和の町認定店舗数は 45 店舗で、参加店は増えているが、効果がまち全体に及ぶという状況ではなく、民業圧迫という苦情が一部に寄せられることもあり、観光客向け店舗と定住消費者向け店舗のギャップの解消には至っておらず、競合状況にある。

③観光客は、50～60 代の女性が多く、昼食前後の来訪者が多い。滞在時間は短く、4 時間以上の滞在を目指しているが、昭和の町エリアに宿泊施設がないことや、市内には 6 つの温泉もあるが PR 不足で、全国的なネームバリューの別府や湯布院の温泉地にも近くにあり、市内宿泊には繋がっていない。

## 2. 由布市の成果・所感

湯布院町が得意な『まちづくり・村おこし』の様相を呈し、他の市町村と際立った対照を示すのは、私が笠懸村役場に就職した今から 40 数年前の昭和 50 年代の初頭に、まちづくり、村おこしのバイブル的存在であった岩男頼一町長の影響によるところが大きいと思います。

当時、岩男町長の影響を受けた湯布院盆地の若手の旅館経営者を中心に、地域独自の論理に基づく自然環境の保全をよりどころとした「自然を守るという消極的な姿勢からまちを創ることで自然を守るという積極的な姿勢」でまちづくりに取り組み、「湯布院シンポジウム」や「牛一頭牧場」、「牛喰い絶叫大会」、「辻馬車の運行」、「ゆふいん映画祭」、「ゆふいん音楽祭」などの新しい観光地作りの運動が展開され、行政よりむしろ住民主導型の地域づくりのイメージ付けがなされてきたことがこの湯布院町の特徴であると思います。

岩男町長時代を除けば、行政は補助的役割に徹し、まちづくりグループの意向に、行政や議会が合わせ、まちづくりのサポート役に回っていった傾向が伺えます。

現在、「自然の癒し」を前面に押し出し、①滞在型・循環型保養地温泉地づくりの形成に向けた誘客促進や、②観光情報・発信業務・プロモーション・マーケティングなどの一元化を目指した由布市まちづくり観光局の設置、③住む人も訪れる人も良いといってくれるまちづくり、などに積極的に取り組んでいます。市の職員が、プロデュース

やマスメディアを巧みに活用した戦略や発信力に長けているおり、何よりも湯布院（由布市）に誇りや自信を持ち、堂々といきいきと語っていることに感心させられました。

なお、次の3点について今回の研修・視察で質問をさせていただきましたので報告いたします。

#### （1）増え続けるホテルの状況について

隣の別府が団体旅行を中心とした大型歓楽施設であるのに対し、湯布院は戦後一貫して自然環境を観光資源とした滞在保養の色彩が強い「保養温泉地」、「生活観光地」のまちづくりが行われてきました。

しかし、昭和62年にリゾート法が制定されると、土地の買占めがおき地価が高騰し、町の世帯数とはほぼ同数の3,635戸のリゾートマンションの申請数があり、癒しの里としての湯布院の立場が壊れてしまう危機を迎えました。

大規模な旅館・ホテル等の増加は、既存の旅館・ホテルとの競合を生じさせ、湯布院地域の観光産業に大きな影響を与えるとともに、山腹や水田の広がる地域での大規模な旅館・ホテルの進展は、眺望などの阻害要因にもなっていますが、増え続けている旅館・ホテルの増加に歯止めがかけられない状況です。

#### （2）放牧畜産と春の訪れを告げる野焼きについて

由布市の北部（由布岳南麓）と南西部（黒岳）に広がる山々のすそ野には、草原が広がり、畜産の牛馬の採草地として利用され、放牧や牧畜の営みが生み出す草原景観は、毎年早春に牧農組合によって行われる野焼きによって維持され、その様子は春の訪れを告げる風物詩であり、文化的景観として位置づけを行うなど、景観としての重要性を認識しつつ、維持・保全に努めてきましたが、農家の高齢化や機械化により牛馬を飼う農家の減少、放牧を行わない畜産農家の増などにより、牧草地の利用が減少し、草原の維持に欠かせない野焼きを行えない地域も生じ、合併して3年目に草地保全は廃止になり、牧草地や放牧畜産農家は少なくなっている。

#### （3）景観形成基本方針の策定について

由布市の景観形成の進め方の特徴は、平成17年に狭間町・庄内町・湯布院町の3町が合併して由布市が誕生しましたが、合併前に町ごとに景観形成基本方針が策定されていたので、合併前の地域ごとの町づくりルールを尊重することにしました。

湯布院地域では、旅館やホテルの開発圧力が依然高く、開発は山腹へと進行し緑を減少させ、景観が失われつつあったため、湯布院地域の景観協議会を先行的に立ち上げ、湯布院温泉を中心とした環境保全条例としての「潤いのある町づくり条例」により、①山腹の緑の維持・保全、②旅館・ホテル等の開発抑制、③草原・水田の維持・保全、④良好な街並みの形成などをコンセプトに、高さや屋外広告物、建築物の形態意匠・色彩などの基準づくりに取り組み、一定以上の面積や高さの開発行為については、事前協議とまちづくり審議会の審議により、湯布院のまちづくりコンセプトを尊重するように求め、行政、住民、起業家の三者が、相互に協力し、それぞれの責任と自覚を持ってまち

づくりの推進に努めることになっています。

### 3. 福岡競艇場の成果・所感

BOAT RACE 福岡の運営形態は、BOAT RACE 桐生（桐生競艇場）のような委託方式ではなく、ボートレース事業部（職員 39 人・嘱託 29 人）による直営であるが、平成 30 年度の売上金額は約 607 億円で、市の一般会計への繰出金が 20 億円（平成 30 年度）と多いことに驚嘆しました。なお、この繰出金の中にはボートレース事業部の職員人件費は含まれていません。

BOAT RACE 福岡は開設以来（s28～h30）65 年間で約 2,831 億円、年平均約 43.55 億円を繰り出しています。

一方、BOAT RACE 桐生の平成 30 年度の売上金額は約 871 億円で、収益事業繰出金だけで見ると 1.2 億円を市の一般会計へ繰出しています。

開設以来（s31～h30）の 62 年間で捉えると、総額で約 605 億円、年平均約 9.76 億円が競艇関連収入（収益事業繰出金・阿左美沼賃貸料・駐車場特別会計繰出金・整備事業受託繰出金）として一般会計に繰り出され、行財政運営に大きく貢献しました。

桐生市が撤退した以降（h16～h30）の 15 年間では、競艇関連収入（収益事業繰出金・阿左美沼賃貸料）として総額で約 60.6 億円、年平均約 4.04 億円が、また、収益事業繰出金だけで見ると総額で約 15.6 億円、年平均約 1.04 億円が、みどり市の一般会計に繰り出されています。

今後も、他 BOAT RACE 場の研修・視察に積極的に参加して、状況把握に努め勉強したい。

# 行政視察(10/29~10/31)

新政クラブ 高草木弘子

## ・大分県豊後高田市 (10/29)



平成 17 年 3 月に 1 市 2 町で合併。合併当時は、26,100 人であったが、現在 22,630 人。人口増施策が行われている。全国八幡宮である宇佐神宮があり、観光客が訪れる。



「豊後高田昭和の町」の取り組み背景として、『商店街が最も元気だった「昭和 30 年代」の賑わいをもう一度』をコンセプトとしてスタートした。平成 9 年に「豊後高田市商店街・商業集積等活性化基本構想策定調査業」を実施。中心市街地のコンセプトを設定。商店街の 70%が昭和 30 年代以前の建物であったことが判明したことにより、「豊後高田昭和の町」が本格的に動き始める。昭和ロマンを取り入れることにより、もともとあった商店街を改良。商店街・商工会・市役所に「まちを何とかしないといけない。もう一度甦らせたい」という熱い思いを持った人達が居た。現在では観光客が毎年増え、外からの移住者も増えている。私は、本物(昭和の蔵などを利用)の持つ魅力が受け入れられたのだと考える。青年部の後継者(40・50 代)もいるとのこと。我が町を思う市民の方の情熱を感じた。自分のまちが持つ魅力をアピールすることも大切である。温かく、熱いまちを実感でき、我がまち活かしたいと思った。





## 由布市 (10/30)



平成 17 年 10 月、は 3 町が合併。現在、人口 35,000 人。



湯布院のまちづくりの基本は、民間主導のまちづくり、そして西ドイツのバーデンバーデンにみる森林公園都市の大切さが説かれている西ドイツのクアオルト構想によるものである。西ドイツに学ぶ「保養温泉地構想」がスタートし、官民一体となった取り組みが始まった。辻馬車の運行や駅前の交通環境整備、また 4 階以上の建物・華美な建物の建築に対し規制をする等、新たな企画や、開発の抑制と誘導が行われた。「住んで良し、訪れて良しの観光地づくり」「滞在型・循環型保養地温泉地づくり」という理念のもとに観光動態は、約 100 万人(1970)→約 400 万人(2017)と増加。大分県が今年度開催されたラグビーワールドカップの会場となったため、外国人観光客も賑わっていた。観光に訪れ、そのまま移住する方もいるとのこと。



由布市においてもプロモーション(魅力のアピールの仕方)について学んだ。まちづくりにはまずコンセプトを決め、それに向け施策を導入すること。民間活力を導入することの重要性を実感した。我が市においても活かしていきたい。豊後高田市、由布市両市ともに温かく、熱いまちを実感した。



## 成果・所感

古田島和茂

「昭和レトロの街」を構築し、豊後高田市では、

昭和30年代の賑わいともう一度をコンセプトとし、様々な国の  
交付金を活用し、行政・民間が、一岩となり、今に至っている。

民間各業者も独自の「売り」を開発し、観光客のおもてなしに  
努めており、もう一度行く価値有りの市である。

ポレネットバス、ガイトのクリスマスと並用する。官民一体である

街づくりか、見事である、現みどり市に求められ、ものの一つとして  
参考とさせている。職員・議員のより一層の意識の向上が  
求められるものがある。

## 由布 市

「潤いのある街づくり条例」を制定し、市では、

開発行為において、事前協議とまちづくり審議会に審議し、  
市全体を来訪者か、満足できる空間とする事とする。

これらの事から、九州周遊観光のハブ的役割を担っている  
姿が見える。みどり市でも、観光行政に力を注ぐ姿は  
見えるが、一貫性に欠けると痛感せざるを得ない。

まちづくりの果観条例も、中 現状での商店街活性化などは  
難しい、視点を変えて街づくりの、みどり市には求められるのでは。

## 研修・視察報告書 （成果・所感）

みどり市議会議員 武井俊一

### 1. 大分県豊後高田市

（目的） 豊後高田市における中心市街地活性化の取り組みについて

「豊後昭和の町」は、戦後復興から高度経済成長期に移る昭和31年生まれの私にとっては、大変心安らく景色であった。街に残っている資源を活用した数少ない成功例と感じた。街なか散策の拠点となる「昭和ロマン蔵」など、地域が一体となって地域おこし、地域づくりに取り組むことの重要性を改めて、認識させられた。

### 2. 大分県由布市

（目的） 観光行政全般について

研修・視察日が平日にもかかわらず、多くの観光客が訪れていて、大変驚いた。

「成長の管理」を基調とした開発の抑制と誘導は、落ち行いた雰囲気のある街並みを作り出していて、大変参考になった。すべての市民に、この「成長の管理」を理解し支持してもらうことは、大変であるとのことだが、粘り強い取り組みは参考とすべき点が多かった。外国人富裕層のリゾート・投資先となっている国内の他の地域と比較して、将来にわたって安定した地域づくりが行えると感じた。

### 3. 福岡県福岡市「BOAT RACE 福岡」

（目的） 施設の概要及び主な取り組みについて

施設の所有形態が、みどり市が施行する、BOAT RACE 桐生と異なり、運営方法など学ぶところが多々あった。

計画的な施設改善・改修を進めるために、基金を造成し取り組んでいるとのこと、市の財政部局からの公営競技収益繰入の要請に対しては、施設改善・改修計画の着実な実行に必要な所要額を確保し、その要請に対応しているとのことであった。地方財政が厳しい中で、将来への施設改善・改修財源を確保している点は参考になった。

ファンサービスとして、芝生広場でくつろぎながらレースを観戦できるようゴザの貸出を行っていたが、職員のアイデアとのことで、ファンへのおもてなしの心を感じることが出来た。

# 視察報告書

広和クラブ 新井みゆき

## 1.令和元年 10 月 2 9 日 大分県豊後高田市視察



豊後高田市の中心市街地活性化の取り組みについては、「レトロのまちづくり」として、以前から新聞やメディアで多く取り上げられていた。このまちづくりが成功した大きな要因は、「昭和の町案内人」、各々の商店の「店主やそこに働く人のおもてなしの心」、そして昭和 32 年式のボンネットバス「昭和ロマン号」の復活である。

レトロのまちを、ボンネットバスは 15 分程度の周遊のようだが、このバスに乗りたいために多くの観光客が訪れるという。それは、おもてなしの心を持った名物ガイドがいるからである。(私もメディアで実際に見たが、おもしろおかしく、まちの紹介をしている。)

まちなみの再生と同時に、人の発掘、人の育成が観光推進にとっては必要不可欠なものであると思う。

左記の写真は、昭和の町案内人の一人である。

豊後高田昭和の町は、多くの「まちづくり賞」を受賞している。





## 2.令和元年 10 月 30 日 大分県由布市 視察

湯布市のまちづくりの基本は、西ドイツのクアオルト構想（保養温泉地構想）に始まる。また、しっかりとした理念の基に構築されている。「住んで良し、訪れて良しの観光地づくり」である。市民と来訪者が癒しの空間を共有できる地域づくりを常に念頭においているという。

由布院（由布市）は海外にも名前が知られていることは観光地としての強みであるが、外国人旅行者への対応が課題であるという。これに対処するために、情報発信拠点事業とし「YUFUINFO」の建設をおこなった。

駅前の開発や道路改良も進み、段差のない縁石、側溝、目地のない舗装や区間ごとに断面の変化が見られる。



「YUFUINFO」の入り口に、立ちこぎ自転車（ウオーキングバイシクル）が止めてありました。まちのなかの移動手段として、社会実証実験中で私も少しだけ体験してみました。



### 3.令和元年10月31日 福岡県福岡市 BOAT RACE 福岡視察

年間をとおり、ほぼ毎日舟券を発行できる場、外向け発売所（ベラボート福岡）を整備した。これは仕事帰りのサラリーマンやOLなど新たな顧客の獲得を目指している。

また、家族で楽しむ空間整備もされており、芝生が広がり、公園で過ごしているかのような場所であった。

施設概要であるが、入場は無料。収容人員は約1,250人である。2階席は有料指定席であり134席ある。

空間設計が女性の視点にも配慮されていると感じた。



以上、視察報告をする。



## 別紙

### 研修・視察報告書成果・所感

広和クラブ 柴崎訓佳

#### 1. 豊後高田市について

1 日目の視察は、大分県豊後高田市で取り組んでいる「昭和の町」を視察した。街中を視察する前に豊後高田市役所において概要の説明を受けた。

当市は、昭和29年度に豊後高田市、真玉町、香々地町の1市2町が合併した市であり、人口約2万2千人規模の市であるが、約150億円ほどの予算計上をしている。人口がみどり市の半分も満たない中、みどり市に近い予算となっている。

大分県・国東半島の西側に位置する豊後高田市は、昭和22年頃をピークとして人口減少が続いていたが、商店街を「昭和の町」として再生した結果、毎年30万人以上の観光客が訪れるようになってきている。さらに「住みたい田舎」ベストランキングでは、4年連続ベスト3に選ばれているとのことであり、この背景には、行政・商工会議所・教育現場・市民が一体となって取り組んできた人口増への豊後高田市の長期的な戦略があったとのことである。説明の中でも、官民一体となって取り組んでいる熱い姿勢が伝わり、あらためて、現在、みどり市の観光政策の中で足りないものを感じた。

平成4年、ゴースタウン化していた商店街の再生を目指して、豊後高田市（合併前）の市役所、商工会議所と商店主は、豊後高田地域商業活性化委員会を設置し、大手広告代理店に依頼して1年間の調査・分析などを進め、「豊後高田地域商業化構想」を完成させた。しかしながら、この当初の計画は、大規模な新規の建造物を必要としたため白紙となったとのことである。しかしながら、平成9年「豊後高田市商店街・商業集積等活性化基本構想その後調査の結果、商店街の約300軒の店舗のうち6～7割は、昭和30年代以前に建設されていたことがわかった。このことは、莫大な費用をかけずに昭和30年代を蘇らせ、そのことをコンセプトとして「昭和の町」として、商店街を再生する取り組みが始まったとのことである。私は、業者委託した計画を白紙にし、職員による町中の調査がきっかけとなったこのプロジェクトを通じ、発想の転換が必要であると感じた。失敗を恐れず、チャレンジする精神こそ職員に必要な姿勢だと思うが、現在のみどり市職員には、それが伝わってこないように感じる。

平成13年に7軒の店を昭和のレトロな雰囲気に改修して「昭和の町」をオープンさせ、その年だけで、2万5千人ほどの観光客が訪れたという。翌年には、「駄菓子屋の夢博物館」などが入った「昭和ロマン蔵」をオープンさせ、この年には、8万人の観光客が訪れたとのことである。平成17年には、約26万人となったとのことである。私は、現在の「小平の里」とリンクさせ、平成4年に「小平の里」は総合オープンし、当

時は、約20万程の観光客が訪れたが、現在では、年間約8万人に減少している状況であり、大きな課題と対策が必要な状況となっている。豊後高田市の当時の課題を確認したところ、大勢の観光客が訪れても、電気店や薬店などの収益には結びつかず、又無料配布していたチラシ等も予算が膨れ上がり、民間の力が必要となった。そこで、民間的手法を活用・展開することで、「昭和の町」の観光を維持可能な事業へと発展させるべく、平成17年に市から5000万円、商工会議所から500万円、金融機関と企業や個人の一般株主から2000万円、計9500万円の資本金が集められて、「豊後高田市観光まちづくり株式会社」が設立された。会社の経営方針を確認した中で、私が疑問として感じたことは、「昭和の町」の取り組みは、経済効果ではなく、豊後高田市の中心市街地の活性化であり、最終目標は、「住んでいい、訪れていい町づくり」にだと言う。市全体としては、企業誘致等の様々な取り組みがある中での基本方針だと思うが、みどり市大間々町での街中活性化の取り組みをリンクさせるとやはり経済効果がある取り組みが必要であると感じた。

その後、「昭和の町」案内人により、街並みを視察し、昭和の町の語り部として、まちの歴史等を方言交じりで案内され、パンフレットで見かける昭和時代のボンネットバスを見て、確かに気持ちがタイムスリップしているように感じた。

みどり市においては、大間々町、東町を中心に観光資源を利用した中で観光客増員の取り組みを行っている。特に大間々町では、空洞化した中心商店街の活性化にむけて取り組みが課題となっている。又東町においても急速に進む少子高齢化の中で、定住促進や観光政策に取り組んでいる状況である。私は、この視察を通じ、全国的に知名度が上がった「わたらせ渓谷鉄道」を利用した観光政策のヒントが、基本方針がしっかりしており、それに向かって官民一体となって事業展開している豊後高田市の中にあると感じた。現在、みどり市においても市の事業や市民団体の活動等様々な取り組みを行っているが、官民の一体となった取り組みに豊後高田市に学ぶべきであると感じる。今回の豊後高田市の視察を通じ、未だ観光客が増加している観光政策の中で、来年度のオリンピックイヤーにおけるインバウンドの取り組みや4月のDC、又香港のボッチャチームのホストタウン等みどり市にとって大きなチャンスであると考えている。人口減少の著しい大間々町の中心市街地の活性化を含め、取り組まなければならない喫緊の課題が確認できたが大きな成果であったと感じている。。



研修・視察報告書成果・所感

広和クラブ 柴崎訓佳

2. 由布市について

2日目の視察は、大分県由布市で取り組んでいる観光政策を学び現地の視察も行った。街中を視察する前に由布市役所において概要の説明を受けた。

当市は、昭和17年10月1日に挾間町、庄内町、湯布院町の3町が合併した市であり、人口約3万4千人規模の市であるが、約180億円ほどの予算計上をしている。ほぼ、みどり市と同じ規模の予算となっている。商工業の発展が著しい挾間、豊かな自然と農業の庄内、観光と温泉の湯布院、3つの輝く個性が1つとなり、快適で住み良いまちを目指している。

由布市は、大分県のほぼ中央に位置し、北は宇佐市や別府市等観光条件にも恵まれている市である。市の主な産業は、農林業では、米を中心に野菜、花木、果実の栽培、畜産が盛んである。しかしながら、本市と同じく、農家数・農家人口は、減少をたどっている。工業における取り組みについては、企業誘致の成果が出ており、製造品出荷額は増加傾向あるとのこと。商業については、社会環境の変化や大規模店の進出などにより商店数は減少傾向にあるものの、新規店舗の創業や進出はめざましく、新たな商業拠点地域が形成されているとの事である。

市役所の中で担当職員により市の概要説明をして頂いた。由布市のまちづくりの基本は西ドイツアオルト構想をまねており、1924年に林学博士の本多静六氏が、「由布院温泉発展策」と題した講演で、民間主導のまちづくりと、西ドイツの温泉都市バーデンバーデンにみる、森林公園都市構想が始まりであるとの説明を受けた。1957年に当時青年団長だった湯布院町初代町長岩男頼一氏により、西ドイツに学ぶ「保養温泉地構想」がスタートし、官民一体となった取り組みが始まったとの事である。

湯布院は、1975年の大分県中部地震により、旅館が全滅したとの風評をきっかけとして、「元気な湯布院」を全国に発信しようと様々な企画が計画された。主な企画として、「ゆふいん映画祭」、「ゆふいん音楽祭」、「辻馬車の運行」、「牛喰い絶叫大会」等若者を中心とした企画が展開されていったとのこと。又1988年頃からのリゾート開発の波を受け、自然環境破壊や無秩序な景観の乱造等により、「成長の管理」を基調とした開発の抑制と誘導に取り組み、開発の規制と民間活力の導入を目指し、「潤いのある町づくり条例」を制定し、湯布院のまちづくりコンセプトを提案した。条例の第1条において、開発事業等の調整は、「住民の健康で文化的な生活の維持及び向上を図る」ことが目的とされている。由布市の観光動態の説明を受け、1970年は、100万人

であったが、2017年には、350万人に達している。しかしながら大きな課題としては、宿泊客が伸びていないことを上げられた。今の若者の傾向として、「泊食分離」という言葉で説明されたが、宴会志向がなく宿泊と食事は別にとるとの意味とのこと。。やはり、現代の若者は、温泉地での宴会は好まず、ビジネスホテル傾向にあるという。特にインバウンド客は、ほとんどがその傾向であるという。私は、外国のリゾート地にあるコンドミニアムの質問させて頂いたが、外で買い物して、ホテルで食べる、その傾向にあるとのことであった。本市での宿泊できる場所はほとんどなく、大きな課題となっているが、有名な温泉地での課題等聞いたことは大いに参考となった。又由布市では、景観にあわない建物が建造されつつある中、先手として「湯の坪街道周辺地区景観計画・景観協定」策定し、まちづくりに取り組んでいる。外国人旅行者への対応としては、約3億6千万の事業費で観光案内所を建設した。実際見学したが、観光案内所の規模は大きく、大分県内、九州広域周遊観光のハブ的な役割を持っているとのことであった。今年度は、大分県でラグビーワールドカップの会場にもなったことから、近年にない盛り上がりであり、市民全体が「おもてなし」の心で対応したとのことであった。

本市との比較の中では、世界的に有名な観光地とは取り組み状況としては規模の違いを感じたが、観光地としての「おもてなし」の対応は大小区別なく基本的なことであるとする。来年開催される東京五輪でのパラリンピックでは、みどり市がボッチャ競技の香港のホストタウンになったことから、この由布市のように市民全体での「おもてなし」の対応は大変重要なことであり、市民全体に周知することに取り組まなければならない。又一過性で終わらせることなく、ボッチャの世界大会への誘致、今後、市全体をバリアフリー化し、福祉にやさしいみどり市として世界に発信させ、将来の向けてのみどり市にとって様々な要素を含んでいると考えます。市長が掲げる世界遺産である日光市からのゴールデンルートの実現も含め、みどり市にとって大きな可能性があることを感じとれる視察であったと考えます。

又同日の研修先において、新庁舎の見学をさせて頂いた。本市における新庁舎建設の問題として興味ある視察先でもあった。みどり市においては、現在、公共施設等総合管理計画・個別施設計画を策定しており、合併時の分庁方式から新庁舎建設案が提示されている。由布市についても、合併後、旧3町の役場は「庁舎」として、市役所の機能を3分割し、それぞれ「庄内庁舎」・「挾間庁舎」・「湯布院庁舎」の分庁方式を本市と同じ取り組みで行った経緯ある。合併後において、新庁舎建設・庁舎機能の集約が議論され、平成28年に庄内庁舎の本館及び増築された新館を「本庁舎」として建設された。この取り組みは、由布市だけではなく全国的にも分庁方式を取り入れた市においては、方針転換の議論がされているのではないかと察している。本市においても、これからの大きな課題である。

## 別紙

### 研修・視察報告書成果・所感

広和クラブ 柴崎訓佳

#### 3. 福岡市内施設見学について

施行者は、福岡市が行っており、福岡都市圏広域行政事業組合へ委託。昭和 28 年 8 月 13 日に設置され、総敷地面積 90,497 m<sup>2</sup>、水面面積 82,429 m<sup>2</sup>とのことである。収容人員は、15,182 人（客数 3,980 席）収容でき、駐車場収容台数は、2,161 台である。発売窓口数 235 窓（内キャッシュレス 114 台）。開催予定日数は、福岡市主催レースが 166 日、福岡都市圏広域行政事務組合主催レースが、24 日である。外発売予定日数については、本場が 227 日、外向発売所（ペラポート福岡）で 362 日を開催。

外向発売所（ペラポート福岡）の説明を受けるが、ペラポート福岡整備の目的としては、年間を通して、ほぼ毎日舟券を発売（特にナイターレース）できる場所を整備し、仕事帰りのサラリーマンや OL など新たなお客さんを開拓することで売上の向上を図るとの事であった。

ペラポート福岡の施設概要についての説明は、開所年月日が、平成 23 年 4 月 15 日（平成 29 年 2 月 1 日リニューアル）。入場料は、無料である。収容人員については、約 1,250 人、営業日数は、ほぼ毎日（約 360 日）で、営業時間については、10:00～21:00。発売窓口数は、1 階 27 窓（内キャッシュレス 6 台）、2 階 67 窓（内キャッシュレス 58 台）。2 階には、有料指定席が 134 席あり、内訳は、下記のとおり。

プレミアボックス（24 席）・・・4,000 円（17 時以降は 3,000 円）

エグゼクティブボックス（32 席）・・・3,000 円（17 時以降 2,000 円）

ペラ坊シート（78 席）・・・2,000 円（17 時以降は 1,000 円）

※エグゼクティブボックスは、平成 25 年 4 月から 8 席増設（24 席→32 席）

プレミアムボックスは平成 29 年 2 月に新設

ペラ坊シート内にペアシート（8 組 16 席）を平成 29 年 2 月にリニューアル

現状における効果については、①ナイター利用者の獲得、定着、②本場非開催日における収益の確保、③他場との相互発売による福岡開催レースの場外売上増を上げている。

2019 年度の主な取組については、売上見込 61,767 百万円としている。本市主催レースについては、41,533 百万円、うち SG(オールスター)9,100 百万円、場間場外(受託発売)については、20,234 百万円と見込んでいる。

説明の中で、興味があったのは、レース場が海水であるため、通常の走行とは別の技術が必要として、海水面の高さも変わるためにその時の環境条件を研究する必要があるとの事であった。又昼間の施設見学であったが、入場者数の少なさを感じた。